



注目



むすび深町では、自立訓練（生活訓練）通所利用者と、宿泊型自立訓練の新規入居者を募集しています。定員は通所利用が20人、宿泊型入居が18名です。職員は男性2名と女性が6名で、小規模の特性を活かし、利用者さまの訓練が円滑に進むように、細やかな工夫と確かな誠意をもって業務にあたらせていただいています。ご利用希望の方はぜひお問い合わせください。ご見学ももちろん大歓迎です！

担当：加藤 服部



通所
自立訓練（生活訓練）
スケジュール

- 8:30…送迎
- 9:00…朝の掃除と前日の振り返り
- 9:30…ラジオ体操、みだしなみ確認
- 10:00…1限目カリキュラム
- 11:00…2限目カリキュラム
- 12:00…昼食
- 13:00…3限目カリキュラム
- 14:15…4限目カリキュラム
- 15:30…清掃、日誌記録
- 16:00…送迎

職員からの一言。

どんぐりの背比べと言いますが、宮沢賢治の『どんぐりと山猫』では、どんぐりたちが一番偉いのはだれかの裁判をしています。その時に主人公の一郎が発した「いちばんばかで、めちゃうちゃで、まるでなっていないのがいちばんえらい。」というセリフが好きです。そんな気持ちが自分の支えになっていると思出す秋の日です。

支援員 安達

〒990-2462
山形市深町1丁目4-13
TEL 023-666-4471
FAX 023-666-4472
E-mail musubi-f@klala-net.jp
特定非営利活動法人 あじさい



自立訓練（生活訓練）／宿泊型自立訓練
相談支援事業所

広報誌
2023年10月号

むすび深町

あなたの暮らしと社会を「むすぶ」



10月に入り、酷暑がようやく落ち着いてきました。むすび深町の訓練でも外に出て歩くことが多くなりました。太陽の光を浴びて散歩することは、体力づくりのみならず、セロトニンを増やす絶好の機会です。ストレス解消、気分向上、歩きながら、新しいことを発見しながらの会話も弾み、なんとも良いことだらけ！雪が降る前の絶好の時期をのがさないようにどんどん歩きます。その日見つけた雲の美しさ、道端のコスモスの可憐さ、どこからか漂う金木犀の香り、などなど。なんとも贅沢な時間を過ごしています。そんな最近のむすび深町の最近の出来事をご紹介します。

自立訓練（生活訓練）に最近の内容について。



10月に入り、ぐっと秋らしくなりました。朝晩の涼しさと日中の暑さの差が激しいのは、体調管理が難しいですが、LST（ライフスキルトレーニング）の授業では、健康にかんする内容を多く扱っています。食に意識的になるために夏に育てていたプランターでの野菜は収穫を終えました。枝は片付け、土はほぐして、来年の種まきのために一部分だけをそのまま育てています。一体どんな種を得ることができるのか期待しています。

調理訓練は、お好み焼きにチャレンジ。キャベツ、シーフードミックス、そして豚肉も入れます。かなり欲張ったタネで生地は分厚く、十分に火を通す方法を調理員さんに聞きながら、プレートでの両面焼きの難しさに挑みました。

また、先月に引き続いて訪問した市民防災センターで、AEDの訓練を行いました。普段触れることのできない機器です。まずスタッフの方が見本を見せてくださり、その後に利用者たちが実際に行ってみるのですが、心臓マッサージはかなりの力が必要です。その場に居合わせた周囲の人と連携し役割分担をすることも含めて、これは貴重な体験です。この訓練は本番が気ないことが望ましいですが、いざという時に必ず役に立ちますね。

そして、気持ちよい秋晴れの中を散歩します。深町公園、若宮公園、籠田中央公園など目的地はさまざまです。先日はむすび深町から歩いて行ける温泉施設、「沼木温泉 辻ヶ花」に向かいました。入浴こそはしませんでした。こんな近くに素敵な温泉があることを確認できました！

清掃活動の一環では、洗車、窓拭き、宿泊棟の共有階段を丁寧に掃き、草取りも行いました。

「むすび感謝祭」を見学訪問しました。

10月9日スポーツの日に寒河江の株式会社ソーシャルトライで行われている「むすび感謝祭」に、課外活動として訪問！ハイエース車を借用してみんなでドライブ気分も味わいました。

ソーシャルトライのA型就労で栽培された野菜はリーズナブルでとてもおいしいそう！同敷地内のCococafeではB型就労の「地域特産開発研究所」の商品を購入できました。入口に陳列されていたのは、とても大きく艶やかなりんご飴で、つついみんなの手が伸びてました。

他にも、外部事業所の協賛により、手芸品、木工製品、焼き菓子に唐辛子製品など、丁寧に作られた製品が色とりどりに並んでいて、こちらも財布のヒモがつつい緩んでしまいます。

その日は同時に障がいに関する相談会も行われており、むすび深町の管理者の加藤相談員もその場に参加しており、忙しく相談に応じていました。

利用者みなさんは舌と目を楽しませながらも、むすび深町の卒業後のことに想像を巡らせることができたと思います。就労の仕方、それぞれの事業所の特徴などなど。あと1年ほどで次のステップに進むべく、未来のことに思いをはせ、今後の日々の訓練にも身が入ることでしょう。みなさんにとって、良い経験になった1日です。

